

会議録名	佐久市人権同和教育推進協議会		
日 時	令和元年12月23日(月)	開始時間	14:30 ~ 15:30
開催場所	佐久市保健センター		
出席者	佐久市人権同和教育推進協議会委員16名 糊澤教育長、青木社会教育部長、渡辺係長(学校教育課)、 戸塚人権同和課長、平川係長、油井、清水社会教育指導員 欠席委員3名		
提出資料	佐久市人権同和教育推進協議会次第ほか12ページ		
内容	<p>1 開 会 進行：社会教育部長</p> <p>2 委嘱書交付</p> <p>3 教育長あいさつ</p> <p>4 自己紹介</p> <p>5 会長・副会長の選出</p> <p>6 会長あいさつ</p> <p>7 協議事項 議長(小林会長)</p> <p>(1) 令和元年度 人権同和教育・啓発事業の中間報告について</p> <p>(2) その他</p> <p>○質疑・意見</p> <p>委 員：資料の人権同和教育推進員の人数が22名になっているが、26名から減ったのかどうか。</p> <p>事 務 局：年齢やそれぞれの事情で退任されたため22名となった。学習会の負担や教育の充実を考え、新しい方をさがしているので情報をいただければ。</p> <p>委 員：ご存じのとおり部落差別解消推進法ができて3年になるが、人権同和教育推進員の中で同和問題をしっかり教えられる人が何人いるか。</p> <p>委 員：全員ができる。</p> <p>委 員：というのは、部落問題に限定すると学校ではなかなか教えきれない現実があるので危惧している。特に高等学校になると教えきれていない。地域的には東信出身の先生はどうかかわかる、中南信の出身の先生はできないという話もある。世代交代があり、先生自身も同和教育を受けた機会が少なくなっている。先生たちも多忙だし、人権教育ばかりやっている訳にもいかない。そんな現状の中、同和問題を知らないで終わってしまうのか、知らなくても教わるシステムがあるのかど</p>		

	<p>うかがが一番の課題。十分に知ってから教えて欲しい。人権同和教育推進員の方々が学校に行ったり、拠り所になるように進めてもらえればありがたい。</p> <p>委員：私たちがぜひ一緒に進めて行ければと思う。</p> <p>教育長：人権同和課でどんな内容がいいか、誰にお願いすればいいかも調整をするので。</p> <p>委員：学校教育はそのように。社会教育が今弱くなってきている。企業の取り組みも薄くなってきている。社会教育の中でも「あけぼの」を活用していただければ。</p> <p>8 閉会 社会教育部長</p>
--	--